

ほうかごDAYクローバー 自己評価票(事業所向け)

		チェック項目	はい	どちら らと	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・ 体制整備	①	利用定員かが指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	54%	46%		基準に基づいて、運営を行っております。
	②	職員の配置数は適切であるか	46%	54%		配置基準に基づいて、適切に人員配置を行っています。
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	62%	31%	8%	建物の入口のスロープや建物内の手摺がありますが、全面バリアフリーには、対応できておりません。お問い合わせや、ご見学時などにご説明しています。
業務改善	④	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	38%	62%		業務改善につきましては、代表や管理者を含めて、全職員で話し合いの機会を持てるように心がけています。
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	54%	46%		今回の自己評価表の内容を業務改善に結びつけていきます。
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	46%	46%	8%	公開しています。
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	31%	69%		苦情受付の第三者委員等による外部からの意見やアドバイスをいただいている実績は現在ありませんが、適切な運営を行うように取り組んでいます。
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	77%	23%		現在、定期的に社内研修を行っております。
適切な 支援の 提供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後デイサービスの計画を作成しているか	69%	31%		児童発達支援管理責任者を中心として、アセスメントをし、保護者のニーズに基づいた計画の作成を行っています。
	⑩	子どもたちの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか。	69%	31%		事業所で規定した、アセスメントシートに基づく評価を行っています。
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	54%	46%		活動プログラムを複数の職員で計画していますが、全員参加になるように改善していく必要があります。
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	85%	15%		多様なプログラムになるようにしていますが、もっと個別の目標に基づく活動プログラムに改善していきます。
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	77%	23%		長期休暇専用の個別支援計画を作成していくよう、改善します。
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	69%	23%	8%	子どもそれぞれの状況に合わせて、きちんと個性を持った支援計画を作成しています。

提供	⑮	支援開始前には職員間で必ず打ち合わせし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	54%	46%		平日は、朝礼にて打ち合わせを行います。休日・長期休暇中は、SNSなどによるやり取りになっているので、工夫が必要な状態です。
	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	38%	62%		翌朝の朝礼にて行っています。
	⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	85%	15%		記録内容の確認と、特定の期間の記録の検証などをいつでも出来るようにしています。
	⑱	定期的モニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しに必要性を判断しているか	62%	38%		個別支援計画の作成の際に、すべての職員が関わられるようにしていけるよう改善していきます。
	⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っているか	38%	62%		多様な活動になるように日々計画しています。
関係機関や保護者との連携	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	62%	38%		日頃、事業所内での子どもたちの状況を把握している職員が参加します。
	㉑	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	77%	23%		送迎時には、できる限り学校での様子をお伺いするようにしています。先生との信頼関係の構築に心がけていますが、まだまだ不足している面もあります。
	㉒	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	62%	38%		現在、医療的ケアが必要なお子様をお預かりしていません。ただし、必要に応じて主治医の先生との密な連絡体制をとります。
	㉓	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	38%	54%	8%	就学前の状況は、資料などの情報から把握にとどまっており、必要に応じて幼稚園等に向いて情報共有を行っていきます。
	㉔	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	46%	46%	8%	卒業前の支援の状況などは、可能な限り提供しています。
	㉕	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	46%	46%	8%	実績はまだありませんが、地区を担当する発達障害者支援センターや児童発達支援センター等の専門機関との面識は常に維持するようにしています。
	㉖	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	15%	62%	23%	定期的な課外活動やイベントは実施できていませんが、最寄りの公園で、障がいの無い子どもと接点を持つことがあります。
	㉗	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	8%	69%	23%	参加依頼があれば、積極的に関わりを持つように心がけていますが、現在は、参加要請等もなく実績はありません。
	㉘	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	62%	31%	8%	子どもの状況については、送迎時に直接職員からや、連絡帳を通してや、別途、面談や訪問等を行うことで、課題や今後の支援方針などをお伝えするようにしています。
	㉙	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行なっているか	23%	69%	8%	医療機関や療育施設等に通う子どもが多いので、その役割は専門の機関にお願いをしていますが、必要に応じて保護者と一緒に支援の方針を考えており、相談体制をつくっています。

保護者への説明責任等	③⑩	運営規定、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行なっているか	54%	46%		契約時には、できる限り詳しく説明を行うようにしています。
	③⑪	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行なっているか	69%	31%		面談や電話、LINEなどを駆使し、時間外も含めて対応を行っています。必要に応じて、適切な支援機関や支援者におつなぎします。
	③⑫	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	23%	69%	8%	保護者も参加できるイベントなどを開催できていないので、企画していく必要があります。
	③⑬	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	69%	31%		対応体制の整備の面では、まだまだ改善が必要な状況です。
	③⑭	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	46%	38%	15%	月の予定については、事前に案内を行っています。HPやWEB上のアルバムサイトを活用し、活動の様子をお伝えするようにしています。
	③⑮	個人情報に十分注意しているか	85%	15%		個人情報につきましては、法律に基づいて適切に運用を行っています。契約時には、個人情報（画像等を含む）をどこまでオープンにするかといった同意書への署名をお願いしています。
	③⑯	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	69%	31%		その子どもの特性に合わせた伝え方を心がけていますが、より良い関わりができるよう、常に努力していきます。
非常時等の対応	③⑰	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を行っているか	23%	62%	15%	まだ地域住民を招待した実績はありませんが、こちらから地域の行事に向くような機会を増やしていければと思っています。
	③⑱	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	62%	38%		緊急時対応マニュアル、感染症マニュアル、防犯マニュアルの作成を行っております。今後、内容を含めて周知を行っていきます。
	③⑲	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	77%	23%		避難場所、避難経路の確認、災害時の対応などは、打ち合わせていますが、実際の訓練やマニュアルの整備といった部分では、不完全な部分があります。
	④①	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応を行っているか	69%	31%		虐待防止研修は、全体研修の中で行っています。また、昨今の子どもにまつわる事件の増加から、子どもの変化にも十分気を配っています。
	④②	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了承を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	62%	38%		身体拘束については、保護者には十分説明を行い、同意書にご署名をお願いするよう、準備しています。
	④③	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	69%	31%		アレルギー疾患によるアナフィラキシーの可能性のある子どもをお預かりしていますので、主治医による対応方法の説明、確認を行っています。
	④④	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	69%	31%		ヒヤリハット事例の提出数を増やして改善に結びつけていきます。